

# 門脈気腫症及び腸管気腫症における腸管切除のリスク因子

## ■ 研究の対象となる方

2017年2月～2020年6月に門脈気腫又は腸管気腫の治療を受けられた方

## ■ 目的・方法

門脈気腫症または腸管気腫症は、腸管虚血を伴っていた場合、腸切除を施行する必要があるため、常に手術を考慮します。しかし、手術を行わずに、状態が安定する場合もあり、患者さんへの侵襲が大きい手術の施行は慎重に判断する必要があります。

今回、門脈気腫症及び腸管気腫症を認めた際の、腸切除の必要性を評価することができるように、手術のリスク因子を検討します。この研究では診療の中で得られた情報を収集し、調査解析を行います。

## ■ 実施期間

2021年10月11日～2022年3月

## ■ 研究に使用する情報

身長、体重、入院期間、既往歴、手術情報、転帰、血液検査データ、CT画像など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## ■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<b>連絡先</b>	済生会熊本病院 外科 医員 足立優樹○（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
------------	---

以上